

●「3年課題研究代表発表会」を実施しました



5月24日（金）3年生課題研究代表発表会が実施されました。今年度の発表会は、他校生を招いての研究発表や、外部の専門機関から講師を招いての指導・助言など、学外の方にご支援とご協力をいただく形での実施となり、例年以上に充実した会となりました。

発表テーマ・発表者

■仙台南高校

- 「かきにくい『ひらがな』はどれ??」
- 「『ジブリ飯』はどうしておいしく見えるのか」
- 「昆虫食は世界を救うのか」

■宮城第一高等学校

- 「ワカクルー街路樹とヒートアイランド現象の関係性—」

■白石高等学校

- 「白石の梅花藻を守れ！」

指導・助言・講評

■(株)オーナー ディレクター 菅野定行 氏

生徒の事後アンケートより（抜粋）

■自分達でテーマを決めて、課題を見つけ、調べていくというのがなんとなく難しそうだなと思っていましたが、今回の色々な発表を見て、身の回りに意外とたくさんの気になることや調べられることがあるということが分かりました。■発表内容が全てとても興味深く聞いていて本当に面白かった。意外と身近なことから深掘して仮説を立て研究して結果をだし考察する過程が全てとてもよくまとまってきちんと筋が通っていてよかった■大学や環境省などと協力して様々な取り組みをしているグループもあり、自分たちが研究を行う際は先輩方を見習って、積極的に行動を起こしていきたいと思いました。■中学校の時にしていたスピーチや発表とは全く違った。自分が気になったものを細かく分析し行動に移し、スライドにするという時間をかけて準備したものを自分の言葉で発表するということの大変さを知った。

発表者の皆さん。宮一高、白石高の方々は公認欠席を取って本校に駆けつけてくださいました。 →



↑宮城一高生の発表。

↑白石高生の発表。

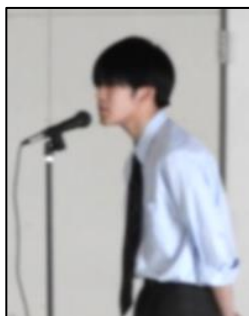
しかし、そんな自分の研究が国や地球のためになるのかもしれないということを考えるとすごく意味のあることのように思う。私も、今回発表してくださった先輩方のように胸を張って語りかけるように自分の研究したことを発表したいと強く思った。■講師の方が話していたようにひとつのテーマで理系も文系も当てはまるような考えができることを知ることができた■発表の時に、身振り手振りがあるとより分かりやすく言葉だけでなく絵や図、表、写真などがあるとより頭に入ってきやすくわかりやすい効果があると分かりました。■難しい質問に対してもその場で考えて上手に返していたのでそこが特にすごいなと思いました。■他校の課題研究ではどのようなことをテーマとして研究をしているのかを知る機会はなかったので、今日の発表会を聞いて南高の課題研究とは違ったそれぞれの地域にあった研究の結果を聞くことができてよかった。



↑委員長挨拶
E.Tさん(3年)



↑この日は質疑応答も活
発に行われました。



↑副委員長挨拶
O.Yさん(3年)



↑指導・助言 菅野定行様

●「三高探究の日」に本校生が参加しました

5月16日、3年の「昆虫食は世界を救うのか」探究チームが三高探究の日のポスターセッションに参加しました。たくさんの聴衆を前にこれまでの探究の成果を堂々と発表し、有意義な時間となりました。



●「3学年進路対策研修会」が行われました

5月11日(土)、河合塾東北営業部より三浦ゆき様を講師としてお迎えし、「3学年保護者(保証人)対象PTA進路対策研修会」を実施しました。三浦様からは、「大学入試を取り巻く環境」「大学入試の基礎知識」「受験や大学生活にかかる費用」「保護者の心構え」など、これから本格的に受験期を迎えるにあたり、保護者(保証人)の皆様にご覧いただきたい内容についてお話をいただきました。今年度より新学習指導要領に対応した新しい入試が始まります。大学入学共通テストでは新科目「情報」が課され、「地理・歴史」「公民」「数学②」の出題科目が大きく再編されます。さらに、「国語」では大問1題が追加され、「数学②」「国語」の試験時間が10分増加します。



↑河合塾 三浦ゆき様の講演の様子